

雪対策・除排雪

～ひとりひとりの協力で冬の暮らしを快適に～



厳

しい冬。雪対策は豪雪地帯で暮らす誰もが頭を抱える問題です。

この季節、路上駐車や道路への雪出しなど「自分一人だけなら大丈夫」といったルール違反が、除雪作業に多大な支障を生じさせ、時間や費用が大幅にかさみます。

冬を快適に過ごすため、住民ひとりひとりのモラルやマナーが大切です。

町の除排雪基準

●除雪

降雪10cm以上で出勤
概ね朝7時まで除雪完了
除雪出勤回数 51回
基準降雪量 7m70cm
(年間降雪の累計)

●排雪

排雪回数 2回
排雪量 150,000^m

町の冬道対策としては、凍結路面での砂の撒布、わだちの補整、防雪柵の設置なども行なっていますが、地域の皆様のご協力とご理解が最も大切です。

排雪費の一部住民負担にご協力をお願いします

町では、行財政システム再構築プランに基づき、全事務事業の見直しを行っており、この中で、除排雪業務では、昨年並の降雪の場合、生活道路の排雪作業が困難な状況にあります。

従前の排雪体制を確保するには、排雪地域の町内会から、生活道路3回目の排雪の経費負担のご協力を頂くことを提案し、11月に実施した11回の住民説明会などを通じお知らせしております。

1世帯当たり2,800円の負担を頂くことにより、生活道路3回目の排雪が可能になります。是非、ご理解とご協力をお願いします。

具体的な実施方法については、現在、各地域と町で協議中です。

詳細が決定した際には、各町内会の皆様へお知らせします。

【住民説明会での質疑応答内容（抜粋）】

問 排雪とは、ダンプで雪を積み込んで運搬し、処理することでは無いか？

答 排雪は、排雪用ダンプに雪を積み込み処理する方法と、空き地に堆積した後に雪割りやダンプで処理する方法とがあります。

問 1世帯2,800円を集められない町内会は排雪しないのか、実施する所としない所が出るのでは？

答 各町内会と協議は行いますが、町内会ごとに差が出ますと、緊急車両等の通行障害も心配されるので、全町一斉でのご協力をお願いして参ります。

問 昨年度2回しか排雪しない所があるが、3回行う必要があるのか？

答 昨年、1昨年は排雪路線設計排雪量2回分で15万^mに対して、実際排雪量は21万^m以上で3回以上行っている計算です。

問 3回目の排雪が必要で無いような場合はどうなるのか？

答 今年から1回目の排雪より、町内会、排雪業者、町で日程を協議して排雪を行います。3回目の排雪の実施が無い場合、集めたお金は次年度へ積立しておくなど、各町内会で検討をお願いします。

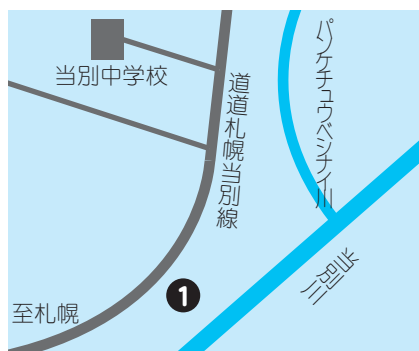
●雪堆積場のご案内

個人の敷地の雪は、敷地内での処理が原則ですが、当別町民の雪堆積場への自己搬入は無料受入します。

土、砂、粗大ゴミが混入した雪の搬入は厳禁です。廃棄物として処理してください。なお、堆積場では、係員の指示に従ってください。

▼受入時間 8時～17時

① 下川雪堆積場



② ビトエ雪堆積場



▼町除排雪に関する問合せ

役場 維持管理課 (☎23-3197)

当別環境整備協同組合 (☎25-3666)

Town Topics まちの話題

広報誌で紹介した写真または
データを希望者に提供します。

お申し込み 情報課広報広聴係
☎23-3069



会場には 森本選手そっくり？
なファンの姿も

sports

(12月10日)

祝！日本一 当別ファイターズクラブ



北海道日本ハムファイターズを当別からも応援しようと、当別ファイターズクラブ(野口和之会長)主催により、ファイターズの江尻慎太郎投手との交流会が開催されました。

約100名のファイターズファンが集う中、江尻投手は、激励や来年父親となることの心境、休日の過ごし方などの質問に対して笑顔で答え、「今年はファンの声援に気づけられて44年ぶりの日本一になったので、来シーズンは自分の力でファンに感動をプレゼントしたい」と力強く来季の飛躍を誓っていました。

抽選会ではファイターズグッズなどが当たるたびに歓声が上がリ、その後行なわれたサイン会、写真撮影会などは札幌ドームさながらの熱気に包まれていました。

party

(12月10日)

心温まるクリスマスパーティー NPO法人まちの森



NPO法人まちの森が設立2周年を記念してクリスマスチャリティーコンサートを開催しました。オープニングでは、獅子内の3家族で結成している獅郷太鼓が力を合わせて威勢の良い音を披露し、続いてサクソ・デュオがクラシックやポップスなどを演奏しました。

最後は、以前に当別でコンサートを開催した5人組のアカペラコーラスグループ「こころや」が登場し、クリスマスソングを人の声ならではの暖かいハーモニーで合唱し、来場者を楽しませました。

会場では、手作りのケーキとコーヒーが配られたほか、スタッフがサンタクロースに変装し、クリスマスのムードに包まれていました。

参加者から集められたお金は、地域活動支援センターの活動などに利用されます。

world

(12月10日)

世界の現状を伝える「地球のステージ4」



当別高校国際協カクラブが主催して、ライブステージ「地球のステージ4」を開催しました。同クラブは、発足から9年目になり、現在は21名の部員で活動を続け、カンボジアの小学校に井戸を寄贈するなど国際的に活躍しています。



ライブ「地球のステージ」は、発展途上国でボランティア活動をしている精神科医の桑山紀彦さんが自身の活動を映像と歌とトークでつづるステージで、今年で4回目を迎えます。

今回のライブでは、去年のパキスタン大地震から立ち直ろうとする家族や少年の活動を取り上げ、前向きに生きることの大切さを来場者に伝えました。

play

(12月15日)

子どもと楽しい時間を わらべ歌あそび



昔から子どもたちに受け継がれてきたわらべ歌の良さを見直そうとおはなしサークルたんぼぼと町教委が共催して「親子で遊ぼうわらべ歌あそび」を西当別コミュニティセンターで開催。

講師に、幼い子どもを育てるお母さんたちにわらべ歌を広げようと札幌で講師活動をしている布施早苗先生を迎え、15組の親子が参加しました。

参加した親子は、布施先生と一緒に昔なじみの歌や遊びを通して楽しいひとときを過ごし、会場には、子どもたちの元気な声が響いていました。

cooking

(12月10日)

お父さんも料理 男の料理教室



普段あまり家事をしない父親が、家庭で子どもと一緒に料理をすることでコミュニケーションを図れるようにと「男の料理教室」が当別中学校で開催され、父親25名が参加しました。

管理栄養士の相澤紀子氏の指導で、楽しい雰囲気の中、カレーライス・カツ・サラダ・デザート調理と試食を行ないました。